RICOH

Caplio R1
Caplio RZ1

使用説明書（ソフトウェア編）

メモ

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

使用説明書の構成について

Caplio R1/RZ1には、次の2種類の使用説明書が付属しています。

1.カメラの使いかたを知るには

『使用説明書（カメラ・導入編）』
（冊子の使用説明書）

カメラの使いかたや機能を説明しています。付属ソフトウェアをパソコンに入れる（インストール）方法についても説明しています。



2.パソコンで画像を楽しむには

『使用説明書（ソフトウェア編）』

※本書（このファイル）です。

付属のソフトウェアを使って、カメラの画像をパソコンに取り込み、表示、編集する方法を解説しています。



ソフトウェア編の読みかた

画面について

画面例は実際の表示と異なる場合があります。

用語について

本書では、静止画/動画/音声をまとめて「画像」または「ファイル」と呼んでいます。

マークについて

本書では次のマークを使って表記しています。

注意

注意事項

操作上、守っていただきたい注意事項や制限事項です。

メモ

メモ

そのページに関する補足説明や、操作について知っておくと役に立つ事柄です。

参照

参照

関連する機能のページを示しています。なお、本文中に参照ページを「→P.xx」という表記で示している場合もあります。

用語説明

用語説明

そのページで説明されている内容から、知っておいていただきたい用語をピックアップして解説しています。

目次

Chapter 1
パソコンで画像を楽しむ（Windows編）

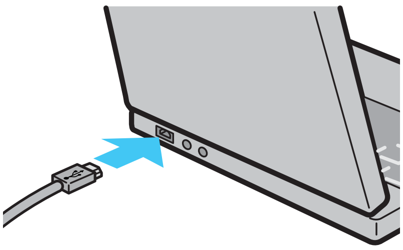
Section 1
画像をパソコンに取り込む

ここでは、静止画や動画などの画像をパソコンに取り込んで表示する方法について説明します。

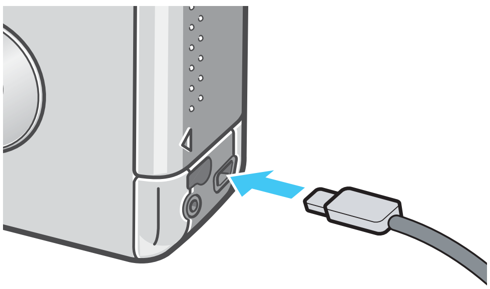
カメラとパソコンを接続する

ソフトをパソコンに入れたら、カメラとパソコンを接続します。

1. カメラの電源がオフになっていることを確認する
2. 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する



3. USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する

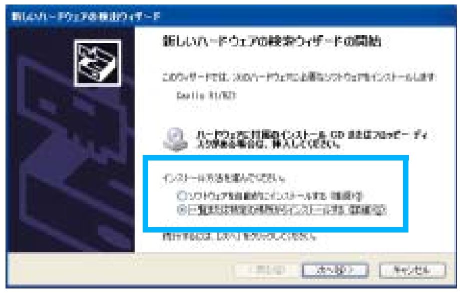


カメラの電源がオンになります。

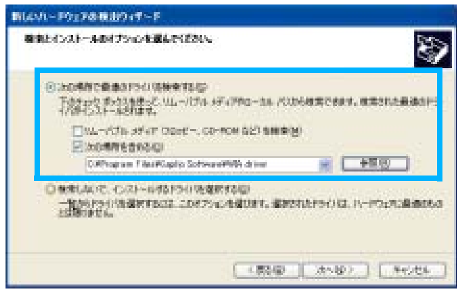
Windows XPの場合

初めてカメラとPCをUSBケーブルで接続すると[新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されます。

1. [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択する



2. [次へ]を選択する
3. [次の場所で最適のドライバを検索する] - [次の場所を含める]を選択し、[参照]ボタンを押す



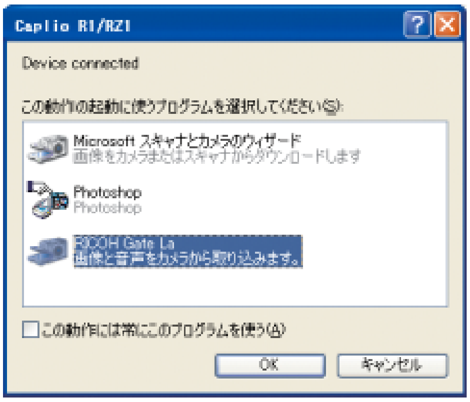
4. Caplio Software をインストールした場所にある[WIA driver]フォルダ(基本はC:¥Program Files¥Caplio Software¥WIA driver)を選択し、[次へ]を選択する

WIA Driverがインストールされます。
[Caplio R1/RZ1]画面が表示されます。

5. ［RICOH Gate La］を選択し、［この動作には常にこのプログラムを使う］にチェックを入れて、［OK］ボタンをクリックする

・Windows XP の「スキャナとカメラのウィザード」機能を使ってカメラから画像を取り込みたい場合には、［Microsoft スキャナとカメラのウィザード］を選択してください。

・［この動作には常にこのプログラムを使う］にチェックを付けなければ、取り込みの際に毎回［Caplio R1/RZ1］画面が表示されて取り込みの方法（RICOH Gate La またはスキャナとカメラのウィザード）を選択できます。



メモ

・カメラとパソコンの接続をやめるには

1. カメラの電源をオフにする
2. USB ケーブルを外す

・カメラから画像を取り込む場合には、電源に AC アダプター（別売り）を使用することをお勧めします。

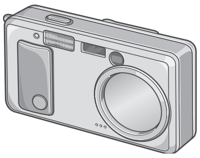
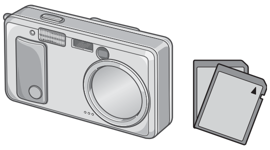
画像をパソコンに取り込む

カメラとパソコンを接続して、画像を一括してパソコンに取り込むことができます。

画像取り込みは、RICOH Gate Laで行います。

メモ

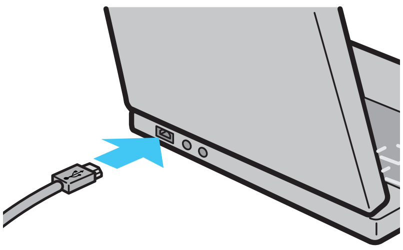
SD メモリーカードをセットしていないときには、内蔵メモリーから取り込まれ、SD メモリーカードをセットしているときには SD メモリーカードから取り込まれます。

本体のみのとき	SD メモリーカードがセットされているとき
内蔵メモリーから取り込む 	SD メモリーカードから取り込む 

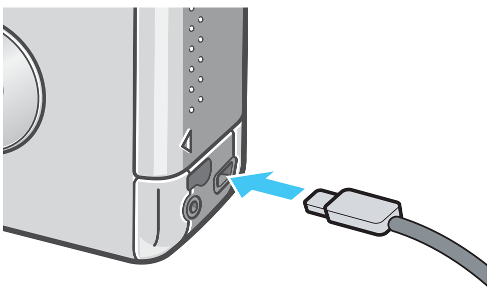
Windows 98/98SE/Me/2000/XPの場合

RICOH Gate Laは［My Documents］フォルダの中に自動的に［Caplio］フォルダを作成します。取り込んだ画像は、撮影日付ごとのフォルダに入れて［Caplio］フォルダ内に保存されます。

1. 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する



2. USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する



カメラの電源がオンになり、RICOH Gate La が起動して、RICOH Gate La のウィンドウが表示されます。



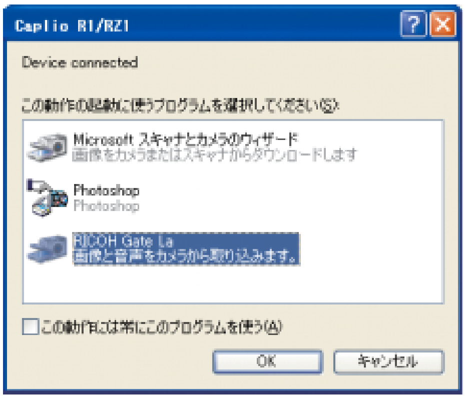
自動的に画像の転送が開始されます。

メモ

- ファイル名が重ならないように連番で保存されます。
- カメラ側で付けられたファイル名は利用しません。
- 保存フォルダが変わっても、続けて連番になります。番号の初期化はできません。
- パソコンに転送する際に、パソコンの転送先に同じファイル名のファイルがある場合は、上書きを避けるために新しいファイル名に置き換えられて保存されます。
- Ricoh Gate La を通じてパソコンに転送した場合は、[CARD連続No.] をONにしていても、ファイル名は「RIMG****.jpg」（****は番号）で保存されます。

取り込みが完了すると、CaplioViewerが起動し、取り込んだ画像を見ることができます。

もし、以下の画面が表示されたら、[RICOH Gate La]を選択し、[この動作には常にこのプログラムを使う]にチェックを入れて、[OK]ボタンをクリックしてください。



メモ

- RICOH Gate Laを終了する前に、カメラの電源をオフにしたり、USBケーブルを抜いたりすると、RICOH Gate Laのウィンドウは最小化してWindowsのタスクバー上にアイコンとして表示されます。アイコンをクリックすると、再びウィンドウが表示されます。
- もし、[MENU]ボタンをクリックして、[終了]を選択してRICOH Gate Laを終了させた後、再度RICOH Gate Laを起動させたい場合には、次のように操作してください。[スタート]メニューから[プログラム]→[Caplio Software]→[RICOH Gate La]を選択する
- 画像の取り込み先（保存先）フォルダは変更することができます。

参照

- 保存先フォルダを変更するには→P.11
- RICOH Gate Laの起動について→P.9
- RICOH Gate Laの画面について→P.9

RICOH Gate Laの使いかた

RICOH Gate La は、カメラからパソコンに画像を一括して取り込む働きをするソフトウェアです。
カメラとパソコンを USB ケーブルで接続するだけで、自動的にパソコンに画像を取り込みます。
RICOH Gate La のウィンドウでは、接続時自動保存や画像の取り込み先（保存先）など、さまざまな設定ができます。

起動について

RICOH Gate La は、Caplio Software をインストールするとインストールされます。

カメラとパソコンを USB ケーブルで接続すると、自動的に起動し、画像を取り込みます。

終了するには

RICOH Gate Laを終了するには、次の2とおりの操作方法があります。

- RICOH Gate Laウィンドウの[MENU]ボタンをクリックしてメニューを表示し、[終了]を選択する（「RICOH Gate Laのウィンドウ」を参照）
- タスクバーの RICOH Gate La のアイコンを右クリックしてメニューを表示し、[終了]を選択する

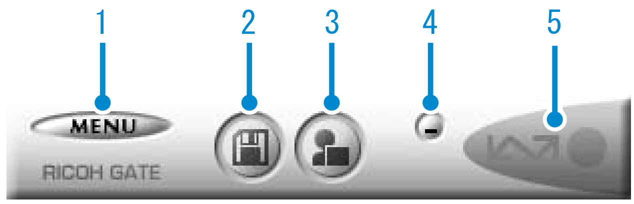
再起動するには

一度終了した後、RICOH Gate La を再度起動したい場合には、次のように操作します。

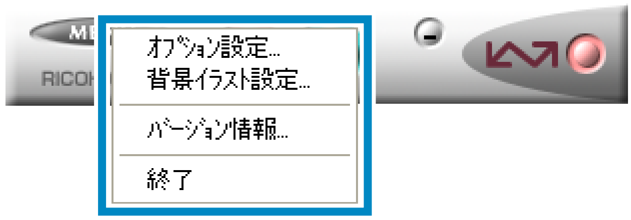
- [スタート]メニューから[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[Caplio Software]→[RICOH Gate La]を選択する

RICOH Gate Laのウィンドウ

RICOH Gate La が起動すると、パソコンの画面上に次のような RICOH Gate La のウィンドウが表示されます。



1. [MENUボタン]
クリックすると次のメニューが表示されます。



[オプション設定]	：	画像の保存先や、保存後およびアプリケーションボタンを押したときに起動するアプリケーションを設定します。（→ P.11）
[背景イラスト設定]		RICOH Gate La のウィンドウの背景デザインを変更します。（→ P.12）
[バージョン情報]		RICOH Gate La のバージョンを表示します。
[終了]		RICOH Gate La を終了します。

2. [保存ボタン]
クリックするとカメラから画像を取り込みます。

注意

カメラの液晶モニターに、「接続待ち・・・ダイレクトプリントをおこなう時には ADJ.ボタンを押してください」と表示されている間は、[保存ボタン]を押さないでください。

3. [アプリケーションボタン]
オプション設定で登録されたアプリケーションを起動します。CaplioViewer があらかじめ登録されています。

4.［最小化ボタン］

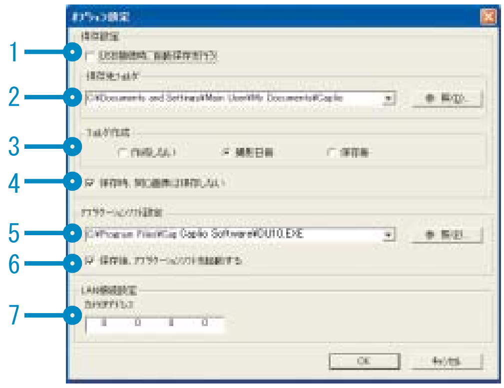
ウィンドウを最小化して Windows のタスクバー上にアイコン表示します。アイコンをクリックすると、ウィンドウが表示されます。

5.［インジケータ］

カメラが USB ケーブルで接続されていると、[インジケータ］が点灯します。このとき［インジケータ］にマウスポインタを合わせると、「カメラ接続中」と表示されます。接続されていないときには、[インジケータ］はグレー表示され、マウスポインタを合わせても、「カメラ接続中」は表示されません。

[オプション設定］の使いかた

RICOH Gate Laのウィンドウにあるボタンで表示したメニューから［オプション設定］を選ぶと、[オプション設定］ダイアログボックスが表示されます。

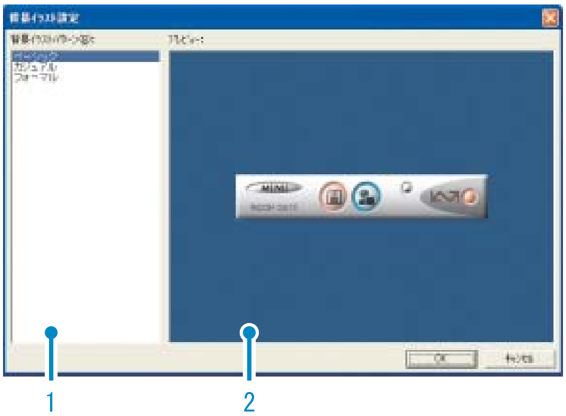


項目		説明	初期値
1.	[接続時自動保存を行う]	チェックマークを付けると、カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されている場合、自動的に画像がパソコンに取り込まれ、保存されます。チェックマークを消すと、カメラを USB ケーブルで接続していても画像は自動的には取り込まれません。取り込みたいときには、［保存］ボタンをクリックします。	自動保存を行う
2.	[保存先フォルダ]	画像を保存するフォルダを指定します。あらかじめ［My Documents］フォルダ内の［Caplio］フォルダに設定されているので、変更したいときには、[参照］ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいフォルダを選択します。	————
3.	[フォルダ作成]	フォルダの作成方法を指定します。 [作成しない] 取り込んだ画像を、すべて 2. で指定されているフォルダ内に保存します。 [撮影日毎] フォルダ名を撮影日にしてフォルダを新規作成し、同じ日に撮影した画像を同じフォルダに保存します。 作成されるフォルダ名は、「撮影日付」になります。 例) 2004 年 5 月 1 日に撮影した場合：[20040501] フォルダ [保存毎] 保存毎にフォルダを新規作成して、保存毎に同じフォルダに画像を保存します。1 日に複数回保存を行った場合には、そのたびに別のフォルダに保存されます。 作成されるフォルダ名は、「保存日付＋アンダーバー＋ 3 桁の連番」になります。 例）2004 年 5 月 1 日に 2 回保存した場合：[20040501_001］フォルダ、[20040502_002］フォルダ	撮影日毎
4.	[保存時、同じ画像は保存しない	[フォルダ作成] で [保存時、同じ画像は保存しない] にチェックが付いていない状態か、フォルダ作成で [作成しない] もしくは [撮影日毎] を選択したときだけ指定できます。 一度取り込みを行った画像は、取り込みません。この機能を正しく働かせるには、カメラの時計情報を正しく設定する必要があります。	保存時、同じ画像は保存しない
5.	[アプリケーションソフト設定]	保存後にアプリケーションを起動したい場合に、アプリケーション名を指定します。あらかじめ DU-10.exe（CaplioViewer のファイル名です）に設定されているので、変更したいときには、[参照］ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいアプリケーションを選択します。	————
6.	[保存後、アプリケーションを起動する]	チェックマークを付けると、保存後にアプリケーションを起動します。 チェックマークを消すと、起動しません。	保存後、アプリケーションを起動する
7.	[カメラ IP アドレス]	本カメラでは使用しません。他の Caplio シリーズのカメラをお使いの場合に使用します。詳しくは、そのカメラの使用説明書を参照してください。	0.0.0.0

［背景イラスト設定］の使いかた

3種類のイラストパターンから、RICOH Gate Laのウィンドウの背景イラストを選択できます。

RICOH Gate Laのウィンドウにある[MENU]ボタンで表示したメニューから［背景イラスト設定］を選ぶと、［背景イラスト設定］ダイアログボックスが表示されます。



1. ［背景イラストパターン］
   3種類のイラストパターンから、使いたいパターンを選択します。







2. ［プレビュー］
   ［背景イラストパターン］で選択したパターンが表示され、確認できます。

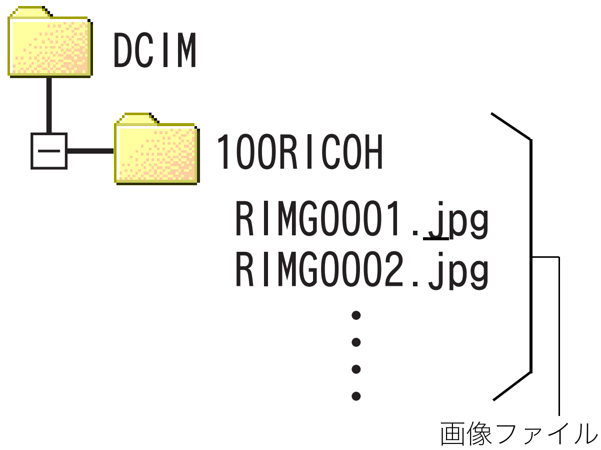
SD メモリーカードから画像を取り込む

PC カードスロットやカードリーダーを使って、SDメモリーカードからパソコンへ画像を取り込むことができます。

SD メモリーカードを PC カードスロットやカードリーダーにセットする場合には、PC カードアダプター FM-SD53（別売り）が使用できます。

SDメモリーカード内の画像

SD メモリーカードには、図のような階層で画像が記録されています。



メモ

カードリーダーが SD メモリーカード対応（そのままセットできる）であれば、PC カードアダプターは必要ありません。

用語説明

カードリーダー

パソコンに接続して、カードの内容を読みとるための機器です。PC カードをセットするタイプの他に、SD メモリーカードがそのままセットできる各種のカードに対応したカードリーダーがあります。

Section 2
画像をサムネイル表示する(CaplioViewerの使いかた)

パソコンに取り込んだ画像は、CaplioViewer を使って次の編集や補正ができます。

・一覧表示
・サイズ変更
・トリミング
・回転
・自動補正 / 手動補正
・ファイル名の変更
・コピー / 縮小してコピー
・削除
・画像情報の表示
・印刷

ここでは、CaplioViewerの使いかたについて説明します。

メモ

CaplioViewerは、Windows専用のソフトウェアです。

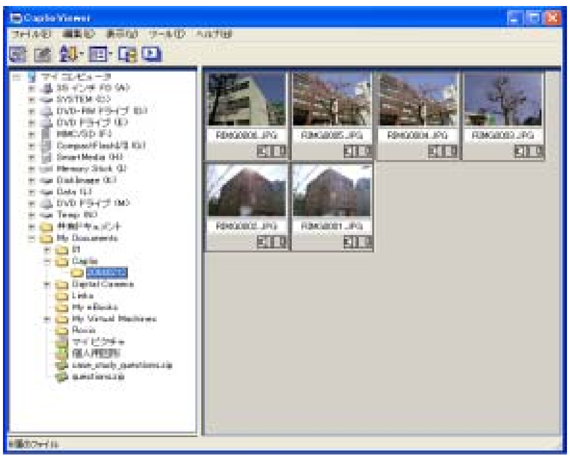
CaplioViewerの起動と終了

CaplioViewerを起動するには、次の2種類の方法があります。

- RICOH Gate La から自動起動する
  RICOH Gate La のオプション設定で、アプリケーションソフト設定にCaplioViewerが設定されており、[保存後、アプリケーションソフトを起動する] にチェックが入った状態であれば、RICOH Gate La でカメラから画像ファイルを取り込んだ後に、CaplioViewerが自動起動します。
- Windows の［スタート］メニューから起動する
  ［スタート］メニューから［プログラム］→［Caplio Software］→［CaplioViewer］を選択すると起動できます。

CaplioViewerのウィンドウ

CaplioViewerが起動すると、次のようなウィンドウが表示されます。



ウィンドウには、開いているフォルダに保存された画像が一覧表示されます。このように画像を縮小して一覧表示する方法を、サムネイル表示と呼びます。

CaplioViewerを終了する

CaplioViewer を終了してウィンドウを閉じるには、メニューバーで［ファイル］を選択して［ファイル］メニューを表示し、［終了］を選択するか、ウィンドウの右上端にある［×］（閉じる）ボタンをクリックします。

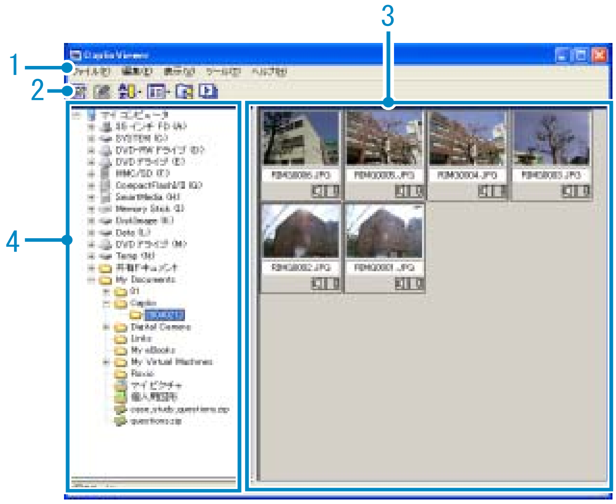


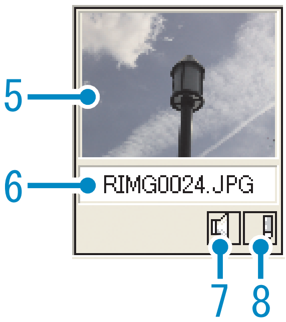
メモ

自動的に起動しないように設定するには→P.9

サムネイル表示の見かた

CaplioViewer を起動すると、画像がサムネイル表示されます。



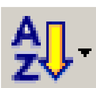


1. メニューバー
   画像の並べ替えや表示サイズの変更などができます。

2. ツールバー
   メニューで行える機能の中から使用頻度の高いものがアイコンで表示され、クリックだけで簡単に機能を使うことができます。

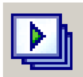

プロパティ（→P.25）
画像情報を表示します。


開く（→P.26）
ビューワー画面を開き、選択されている画像を表示します。


整列（→P.16）
メニューから選択した順序で、画像を並べ替えることができます。


表示サイズ（→P.17）
メニューから選択したサイズで、サムネイル表示します。


フォルダ以下全ての表示
選択フォルダ以下のサブフォルダにある画像もすべてサムネイル表示することができます。


オートスライドショー（→P.19）
サムネイル表示されているすべての画像が順番に表示されます。

3. サムネイル表示領域
   画像を縮小したものが一覧で表示されます。

4. フォルダ表示領域
   [マイ コンピュータ] 内のフォルダが階層で表示されます。ここで選択したフォルダ内の画像がサムネイル表示領域に表示されます。

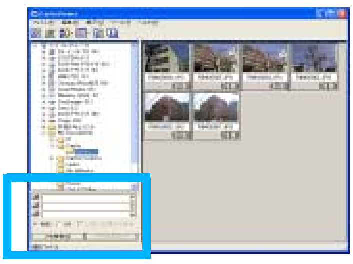
5. 画像のサムネイル

6. ファイル名

7. 音声設定有無表示
   音声付きの画像は、スピーカーのマークが黄色で表示されます。
   スピーカーのマークをダブルクリックすると、音声を再生することができます。
   なお、Caplio RZ1 では、画像に音声を付けることはできません。

8. メモ設定有無表示
   カメラメモ付きの画像は、鉛筆のマークが赤色で表示されます。
   鉛筆のマークをダブルクリックすると、[メモ編集] ダイアログボックスが表示され、カメラメモが編集できます。
   なお、Caplio R1/RZ1 では画像にカメラメモを付けることはできません。

9. 検索バー領域
   キーワードを指定して、該当するカメラメモの付いている画像を検索し、それらの画像のみをサムネイル表示することができます。
   [カメラメモ機能を有効にする] にチェックマークが付けられていると表示されます(→P.22)。
   なお、Caplio R1/RZ1 では画像にカメラメモを付けることはできません。



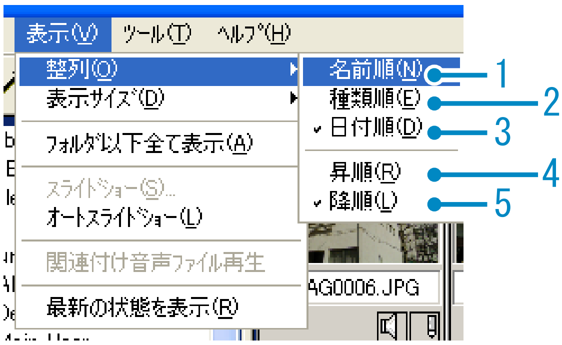
画像を並べ替える

サムネイル表示された画像は、日付順（降順）で並べられています。

この並び順を名前の順、ファイルの種類の順に変更することができます。

また、それぞれを昇順で並べるか降順で並べるかも選択できます。

画像を並べ替えるには、［表示］メニューの［整列］を使うか、ツールバーの ［整列］アイコンを使います。



1. 名前順
   ファイル名の順に並べ替えます。

2. ファイルの種類順
   ファイルの種類（拡張子のアルファベット順）に並べ替えます。

3. 日付順
   撮影日付順（編集した場合は更新日順）に並べ替えます。

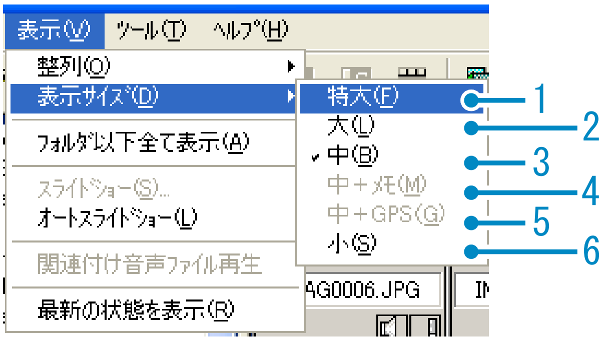
4. 昇順 / 5.降順
   小さい方から大きい方へ並べるのが昇順で、その逆が降順です。アイウエオ順の場合には、アイウエオが昇順でオエウイアが降順になります。
   1,2,3 で並び順を選択し、昇順か降順を選びます。

メモ

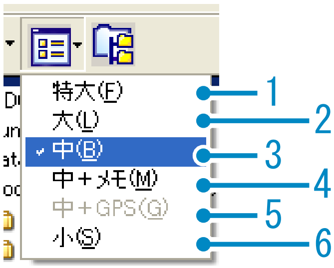
ファイルの種類で並べた場合には、拡張子のアルファベット順で並べ替えられます。

表示サイズを変更する

表示サイズを変更するには、[表示] メニューの［表示サイズ］を使うか、ツールバーの ［表示サイズ］アイコンを使います。



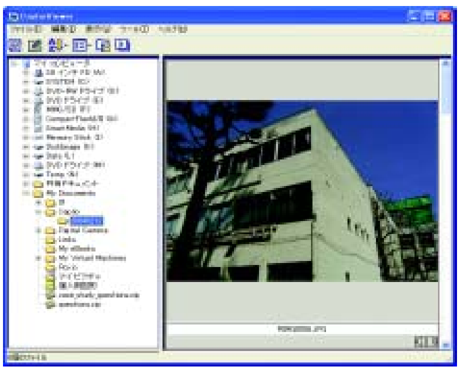
メニュー



ツールバー

画像の表示サイズは６種類あり、変更することができます。

1. 特大



2. 大



3. 中



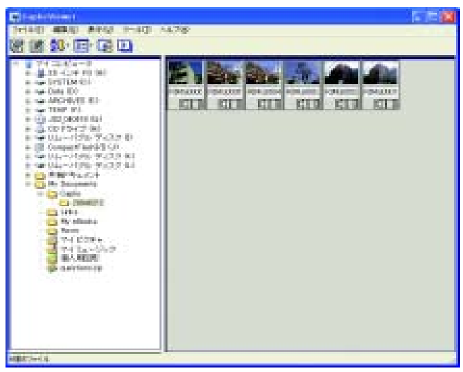
4. 中＋メモ



5. 中＋GPS



6.小



メモ

カメラメモ/GPS機能は本カメラでは使用できないため、表示サイズの「中＋メモ」、「中＋GPS」は、使用できない設定（無効）になっています。

「中＋メモ」、「中＋ GPS」は、他の Caplio シリーズカメラをお使いの場合に使用します。

なお、「中＋メモ」、「中＋ GPS」を使えるようにする（有効にする）こともできます（→P.23）。

スライドショーで見る

画像を自動的に次々に表示することができます。表示の方法には、スライドショー（選択した画像のみ表示）とオートスライドショー（すべての画像を表示）があります。

スライドショーで見るには

スライドショーでは、画像を選択して、その画像のみ次々に表示することができます。

スライドショーを開始するには、次のように操作します。

1. **スライドショーで見たい画像を選択する**

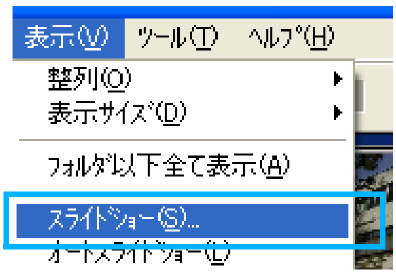
連続する複数画像を選択するときには、先頭の画像をクリックした後、[Shift] キーを押しながら最後の画像をクリックします。

離れた位置にある複数画像を選択するには、[Ctrl] キーを押しながらクリックします。

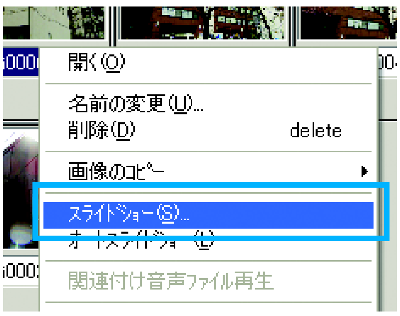
2. **次のいずれかの方法で［スライドショー］を選択する**

・メニューバーで［表示］→［スライドショー］を選択する

・選択したいずれかの画像上で、マウスの右ボタンをクリックしてショートカットメニューから［スライドショー］を選択する

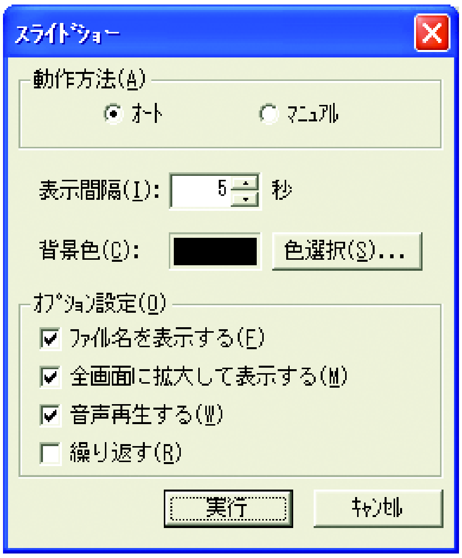


メニュー



右クリックで表示したショートカットメニュー

3. **［スライドショー］ダイアログボックスが表示されるので、必要な設定を行う**



4. **［実行］ボタンをクリックする**

スライドショーが開始されます。

■スライドショーでの操作

スライドショーの種類	使用できるキー	働き
3. で［オート］を選択	[Esc] キー	スライドショーを中止します。
3. で［マニュアル］を選択	[Esc] キー	スライドショーを中止します。
	マウスの左ボタン [スペース] キー [Enter] キー [→] キー	次の画像を表示します。
	[BackSpace] キー [←] キー	前の画像に戻ります。

オートスライドショーで見るには

オートスライドショーでは、サムネイル表示されているすべての画像が順番に表示されます。

オートスライドショーを開始するには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの方法で［オートスライドショー］を選択する

- メニューバーで［表示］→［オートスライドショー］を選択する
- サムネイル表示されたいずれかの画像上で、マウスの右ボタンをクリックしてショートカットメニューから［オートスライドショー］を選択する

スライドショーが開始されます。

画像は［スライドショー］ダイアログボックスで設定されている表示間隔（秒数）で、自動的に切り替わります。

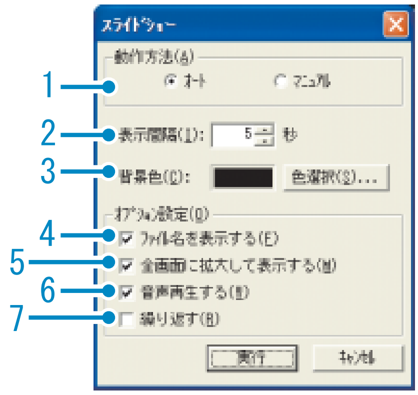
［Esc］キーで中止します。

メモ

- オートスライドショーの際に自動で画面を切り替えるには、［スライドショー］ダイアログボックスの［動作方法］で［オート］を選択しておきます。
- ［動作方法］に［マニュアル］を選択した場合には、［Enter］キーを押すか画面上をクリックしてオートスライドショーの画面を切り替えます。

［スライドショー］ダイアログボックスの使いかた

［スライドショー］ダイアログボックスでは、スライドショーの表示設定ができます。



1. ［動作方法］
   オートスライドショー（自動的に画面が切り替わる）かマニュアルスライドショー（［Enter］キーを押すか、クリックで切り替える）かを選択します。
2. ［表示間隔］
   オートスライドショーのときの画像の表示時間を秒数で指定します。
3. ［背景色］
   画像の背景の色を選択できます。［色選択］ボタンをクリックして、表示されたダイアログボックスで色を選びます。
4. ［ファイル名を表示する］
   チェックマークを付けると、画像の下にファイル名を表示します。
5. ［全画面に拡大して表示する］
   チェックマークを付けると、画像を画面いっぱいに表示します。
6. ［音声再生する］
   チェックマークを付けると、音声の付いている画像の場合、音声も再生します。
7. ［繰り返す］
   チェックマークを付けると、［Esc］キーを押して中止しない限り、画像を繰り返し表示し続けます。チェックマークを消すと、フォルダ内の画像をひととおり表示した後、スライドショーを終了します。

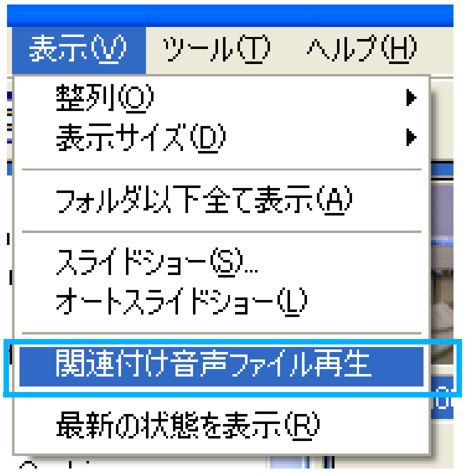
音声付き画像の音声を再生する

カメラの[音声付き撮影]機能などを使用して撮影された音声が関連付けられた画像の音声を再生することができます。

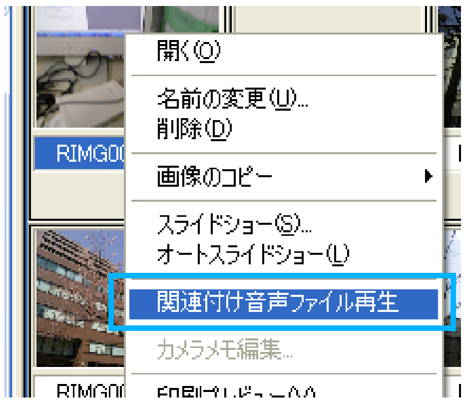
音声付き画像の音声を再生するには

1. 音声が関連付けられた画像を選択する
2. 次のいずれかの方法で［関連付け音声ファイル再生］を選択する

・メニューバーで、［表示］→［関連付け音声ファイル再生］を選択する



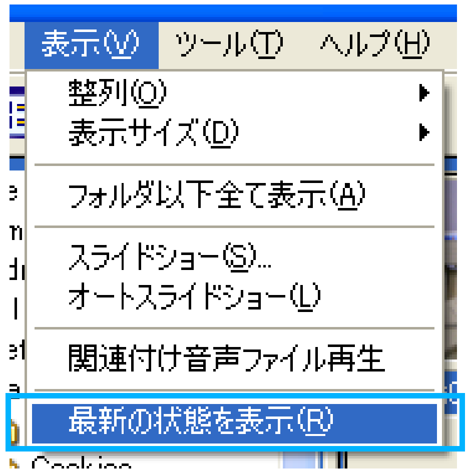
・選択した画像上で、マウスの右ボタンをクリックして、ショートカットメニューから［関連付け音声ファイル再生］を選択する



最新の状態を表示する

フォルダ内の内容に変更があったときなどで、自動的に画面が更新されない場合は、以下の方法で最新の状態を表示することができます。

1. メニューバーで、［表示］→［最新の状態を表示］を選択する



画像のファイル名を変更する

サムネイル表示された画像のファイル名を変更することができます。

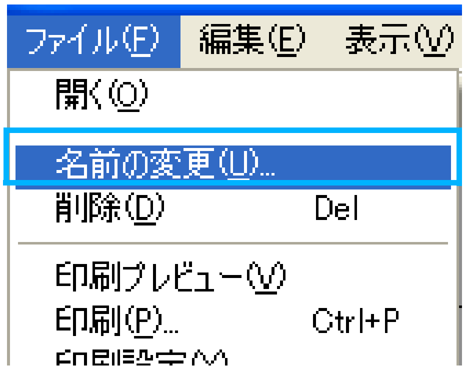
ファイル名を変更するには

サムネイル表示された画像のファイル名を変更するには、次のように操作します。

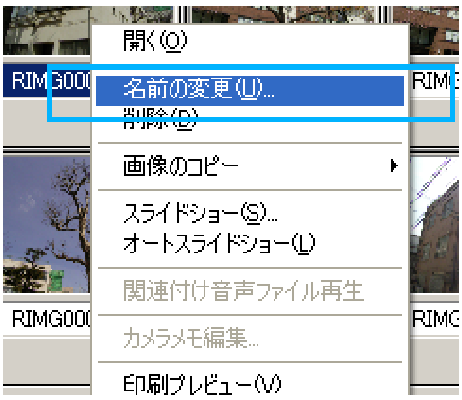
1. ファイル名を変更したい画像を選択する

2. 次のいずれかの方法で［名前の変更］を選択する

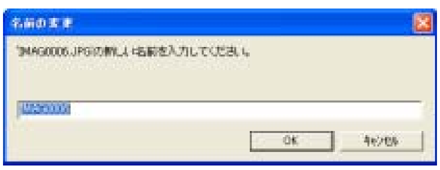
・メニューバーで、［ファイル］→［名前の変更］を選択する



・選択した画像上で、マウスの右ボタンをクリックして、ショートカットメニューから［名前の変更］を選択する



3. ［名前の変更 ］ダイアログボックスが表示されるので、新しい名前を入力する

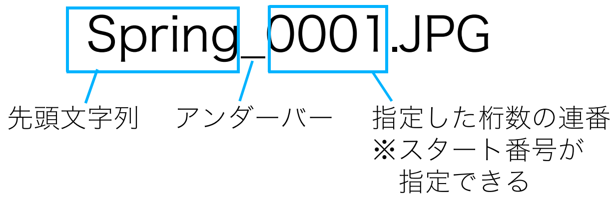


4. ［OK］ボタンをクリックする

画像のファイル名を一括して変更する（連続リネーム）

複数の画像のファイル名を一括して変更することができます。

付けることのできるファイル名は、次の形式です。



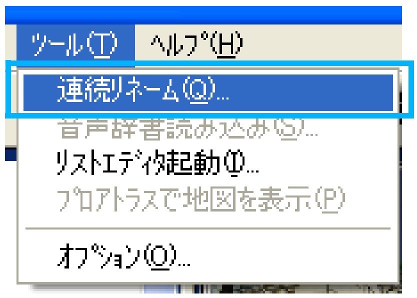
画像のファイル名を一括して変更するには、次のように操作します。

1. ファイル名を変更したい画像を選択する

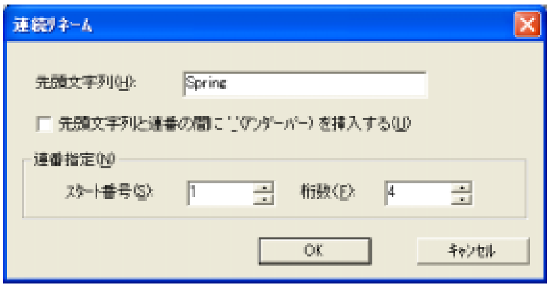
連続する複数画像を選択するときには、先頭の画像をクリックした後、［Shift］キーを押しながら最後の画像をクリックします。

離れた位置にある複数画像を選択するには、［Ctrl］キーを押しながらクリックします。

2. メニューバーの［ツール］→［連続リネーム］を選択する



3. ［連続リネーム］ダイアログボックスが表示されるので、先頭文字列、アンダーバーの有無、スタート番号、桁数を指定する



4. ［OK］ボタンをクリックする

画像サイズを縮小してコピーする

サムネイル表示された画像のサイズを縮小して、クリップボードにコピーすることができます。

縮小サイズは、等倍、1/2、1/3、1/4、1/8、1/16の中から選択できます。

画像をコピーして、他のWindowsアプリケーションで貼り付けたときに、画像サイズが大きすぎるという場合には、この機能で画像サイズを縮小してクリップボードにコピーし、貼り付けを行うと便利です。

画像を縮小してコピーするには

画像サイズを縮小してコピーするには、次のように操作します。

1. 縮小してコピーしたい画像を選択する

2. 次のいずれかの方法で［画像のコピー］を選択する

- メニューバーで、［編集］→［画像のコピー］を選択する
- 選択した画像上で、マウスの右ボタンをクリックして、ショートカットメニューから［画像のコピー］を選択する



3. 縮小率のメニューが表示されるので、使用したい縮小率を選択する

4. 他のWindowsアプリケーションにクリップボードの画像を貼りつける

たとえば、Windowsのアクセサリにある「ペイント」を使用する場合は、「ペイント」のメニューバーで、［編集］→［貼り付け］を選択します。

カメラメモ機能や、他のCaplio シリーズカメラの機能の有効/無効を切り替える

カメラメモ機能や、他の Caplio シリーズカメラをお使いの場合に使用できる GPS 連携機能の有効/無効を設定できます。

初期値は、次のようになっています。

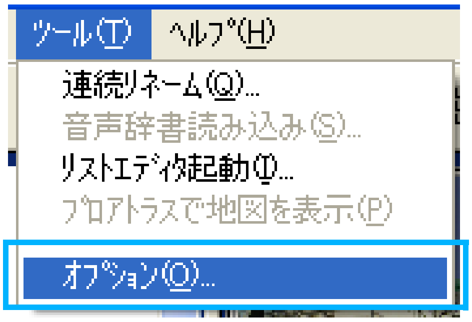
・カメラメモ機能　：無効

・GPS連携機能　：無効

カメラメモ機能 /GPS 連携の有効 / 無効を切り替えるには

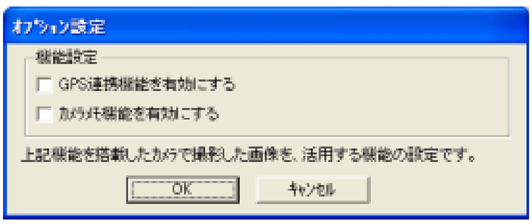
カメラメモ機能 /GPS 連携の有効 / 無効を切り替えるには、次のように操作します。

1. [ツール] メニューの [オプション] を選ぶ



[オプション] ダイアログボックスが表示されます。

2. 有効にする機能にチェックマークを付ける、または無効にする機能のチェックマークを消す



3. [OK] ボタンをクリックする

カメラと各機能の対応について

各カメラと、GPS 連携/カメラメモ機能の対応は、次のようになります。

お使いのカメラ	GPS 連携機能	カメラメモ機能
Caplio RR30	×	×
Caplio 300G	×	×
Caplio G3/G3 Model M	×	×
Caplio G3 Model S	×	○
Caplio Pro G3	○	○
Caplio G4	×	×
Caplio G4wide	×	×
Caplio 400G wide	×	○
Caplio RX	×	×
Caplio GX	×	○
Caplio R1/RZ1	×	×

○：対応機能があります。
×：機能がありません。

使用できるようになる機能

[カメラメモ機能を有効にする] にチェックマークを付けた場合に、使用できるようになる機能は、次のようになります。

・[編集] メニューの [カメラメモ編集]、[音声メモ一括変換]

・[表示] メニューの [中＋メモ]

・[ツール] メニューの [音声辞書読み込み]

・ツールバーの [表示サイズ] アイコンで表示したメニューの [中＋メモ]

[GPS 連携機能を有効にする] にチェックマークを付けた場合に、使用できるようになる機能は、次のようになります。

・[表示] メニューの [中＋GPS]

・ツールバーの [表示サイズ] アイコンで表示したメニューの [中＋GPS]

・[ツール] メニューの [プロアトラスで地図を表示]

メモ

CaplioViewer で使用できるようになる各機能については、お使いのカメラに付属している使用説明書を参照してください。

画像を削除するには

画像を削除することができます。

画像を削除するには、次の３種類の方法があります。

[ファイル]メニューを使う

1. サムネイル表示領域で削除したい画像をクリックする
2. [ファイル]メニューの[削除]を選ぶ

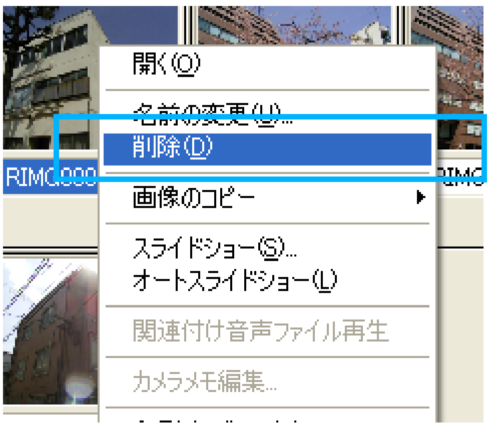


ショートカットメニューを使う

1. サムネイル表示領域の削除したい画像上で、マウスの右ボタンをクリックする

ショートカットメニューが表示されます。

2. ショートカットメニューから[削除]を選ぶ

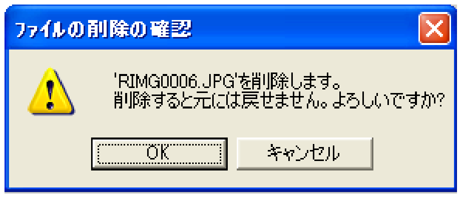


キーボードを使う

1. サムネイル表示領域で削除したい画像をクリックする
2. パソコンのキーボードで[DELETE]キーを押す

削除確認のメッセージが表示されます。

3. [OK]ボタンをクリックする



画像の情報を見る

撮影日時や画像サイズなどの画像情報を表示することができます。

画像情報を表示するには、次のように操作をします。

1. 画像情報を表示したい画像を選択する

2. 次のいずれかの方法で［プロパティ］を選択する

・メニューバーで、［ファイル］→［プロパティ］を選択する



・選択した画像上で、マウスの右ボタンをクリックして、ショートカットメニューから［プロパティ］を選択する

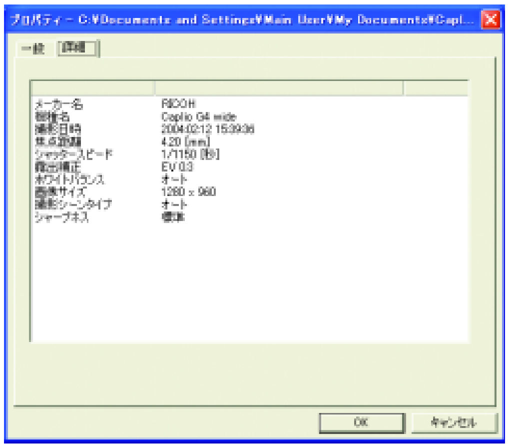
・ツールバーの ［プロパティ］アイコンをクリックする

次のような［プロパティ］画面が表示されます。

［プロパティ］画面には、撮影日時などの情報を表示した［一般］タブと、撮影時のカメラの設定などを表示した［詳細］タブがあります。



［プロパティ］画面の［一般］タブ



［プロパティ］画面の［詳細］タブ

メモ

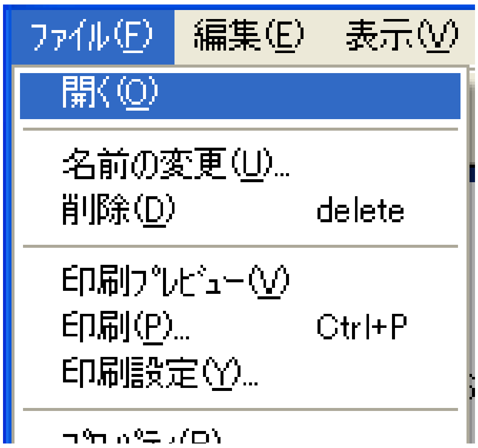
上記の［詳細］タブの内容は、本カメラの場合の情報です。［詳細］タブに表示される内容は、カメラによって異なる場合があります。

ビューワー画面に表示する

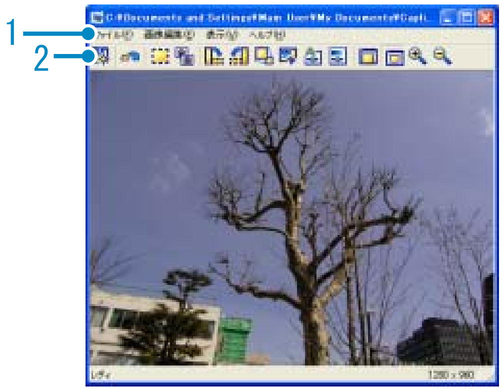
ビューワー画面を使うと、画像をサムネイル表示でなく、大きく表示することができます。

ビューワー画面にするには、次のいずれかの操作をします。

- サムネイル表示で表示したい画像をダブルクリックする
- サムネイル表示領域で表示したい画像をクリックし、[ファイル] メニューの [開く] を選ぶ



ビューワー画面の使いかた

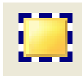


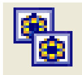
ビューワー画面

1. メニューバー（→P.30）
2. ツールバー

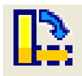
 [名前を付けて保存]（→ P.27）

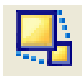
 [原画に戻す]（→ P.27）

 [範囲選択]（→ P.27）

 [コピー]（→ P.27）

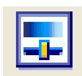
 [左 90 度回転]（→ P.27）

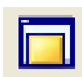
 [右 90 度回転]（→ P.27）

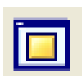
 [サイズ変更]（→ P.27）

 [トリミング]（→ P.27）

 [自動画像補正]（→ P.28）

 [手動画像補正]（→ P.28）

 [実寸表示]（→ P.29）

 [全体表示]（→ P.29）

 [拡大表示]（→ P.29）

 [縮小表示]（→ P.29）

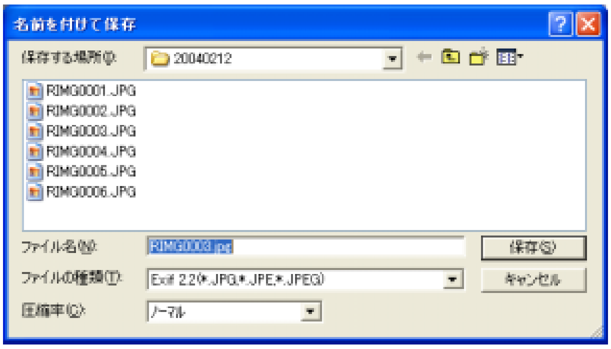
ツールバーを使ってできること

ツールバーの各アイコンを使うと次のことができます。



[名前を付けて保存]

[名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示され、画像を保存します。ファイル名を修正すると、新しいファイルとして保存できます。必要に応じて、ファイルの種類や圧縮率も変更できます。



［名前を付けて保存］ダイアログボックス

新しいファイル名で保存するには、次のように操作します。

1. **［ファイル］メニューの［名前を付けて保存］を選ぶ**

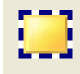
   ［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

2. **［保存する場所］で新しいファイルの保存先を指定する**
3. **［ファイル名］に新しいファイルの名前を入力する**
4. **必要に応じて、ファイルの種類や圧縮率を変更する**
5. **［保存］をクリックする**



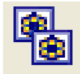
[原画に戻す]

ビューワー画面で行った変更内容を、元に戻します。



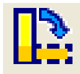
[範囲選択]

ドラッグして範囲を選択することができます。範囲をコピーするときに使用します。

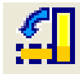


[コピー]

画像をクリップボードに保存し、他のアプリケーションに貼り付けることができます。［範囲選択］で選択した場合は、選択された範囲のみコピーされます。範囲選択を行っていない場合は、画像全体がコピーされます。

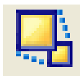


[右90度回転]



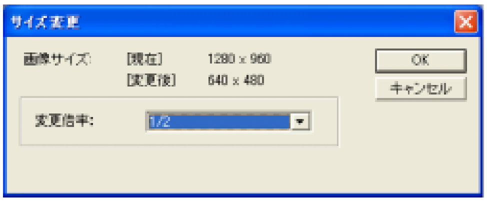
[左90度回転]

画像を左右に 90 度回転させることができます。撮影した画像の縦横を正しい向きになおすことができます。



[サイズ変更]

［サイズ変更］ダイアログボックスが表示され、1/2倍、1/3倍、1/4倍、1/8、1/16倍の５種類のサイズに画像をサイズ変更できます。



［サイズ変更］ダイアログボックス



[トリミング]

画像の一部分を切り出すことができます。切り出したい範囲をドラッグすると、確認のメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックすると、画像が切り出されます。

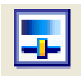


[自動画像補正]

画像がより美しく見えるように、明るさ、コントラスト、シャープネス、色合いなどを自動的に変換し、画像の補正を行います。[自動画像補正] ダイアログボックスが表示され、補正結果が確認できます。

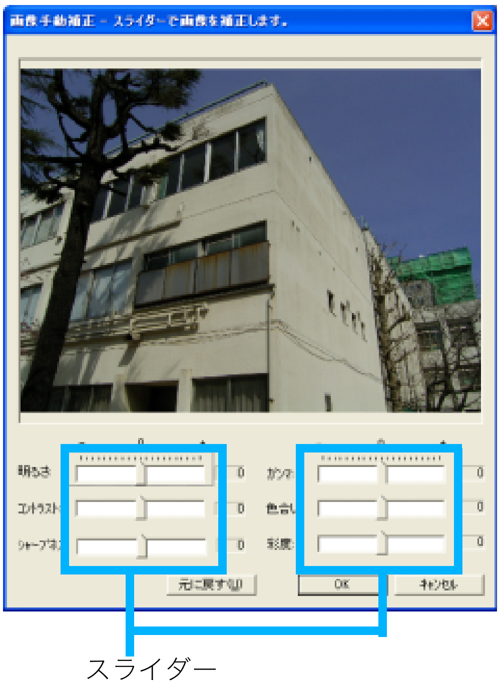


[自動画像補正] ダイアログボックス



[手動画像補正]

[手動画像補正] ダイアログボックスが表示され、スライダーを左右にドラッグすることにより、明るさ、コントラスト、シャープネス、色合いなどを調整できます。



[手動画像補正] ダイアログボックス

スライドバーは矢印キーで細かく移動させることができ、便利です。

各スライダーをドラッグすると、次のような効果が得られます。

元画像



• 明るさ

画像全体の明るさを調整できます。





-　　　　+

• コントラスト

コントラストの調整ができます。

画像にメリハリをつけたり、平坦で単調な画像にすることができます。





-　　　　+

• シャープネス

画像を ぼかしたり、くっきりさせたりできます。





-　　　　+

・ガンマ

画像の最も暗い部分と明るい部分はそのままとし、中間部分の明るさを調整できます。暗い写真を補正するのに最適です。





-　　　　　　　　+

・色合い

画像の色合いを青方向（+）/赤方向（−）に調整できます。





-　　　　　　　　+

・彩度

色の鮮やかさを調整できます。

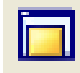




-　　　　　　　　+

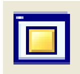
メモ

［明るさ］のスライダーを使ったときに、画像全体が白っぽくなったり、暗くなってしまった場合には、［ガンマ］のスライダーを使うと、目的の画像に補正できることがあります。



[実寸表示]

画像を実寸で表示します。



[全体表示]

ビューワー画面一杯に画像全体を表示します。



[拡大表示]

画像を２倍、３倍、４倍、８倍、16倍に拡大表示します。

メモ

画像サイズによっては拡大表示できない倍率があります。



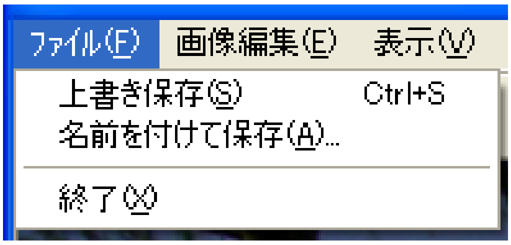
[縮小表示]

画像を1/2、1/3、1/4、1/8、1/16に縮小表示します。

メニューバーを使ってできること

メニューバーから表示した各メニュー項目を使うと次のことができます。

[ファイル] メニュー



[上書き保存]

画像を上書き保存します。

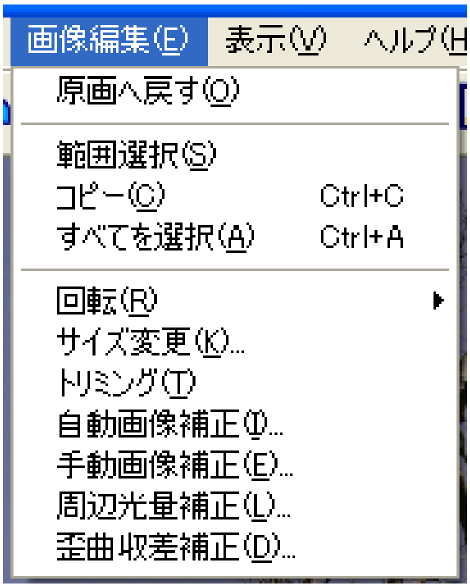
[名前を付けて保存]

[名前を付けて保存] ダイアログボックス（→ P.27）が表示され、画像に名前を付けて保存できます。ファイルの種類や圧縮率も変更できます。

[終了]

ビューワー画面を閉じます。

[画像編集] メニュー



[原画へ戻す]

ビューワー画面で行った変更内容を、元に戻します。

[範囲選択]

ドラッグして範囲を選択することができます。範囲をコピーするときに使用します。

[コピー]

画像をクリップボードに保存し、他のアプリケーションに貼り付けることができます。[範囲選択] で選択した場合は、選択された範囲のみコピーされます。範囲選択を行っていない場合や [すべてを選択] をクリックしている場合は、画像全体がコピーされます。

[すべてを選択]

画像のすべてを選択します。画像をコピーするときに使用します。

[回転]

画像を左右に 90 度回転させることができます。撮影した画像の縦横を正しい向きになおすことができます。

[サイズ変更]

[サイズ変更] ダイアログボックス（→ P.27）が表示され、1/2 倍、1/3 倍、1/4 倍、1/8、1/16倍の5種類のサイズに画像をサイズ変更できます。

[トリミング]

画像の一部分を切り出すことができます。切り出したい範囲をドラッグすると、確認のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、画像が切り出されます。

[自動画像補正]

画像がより美しく見えるように、明るさ、コントラスト、シャープネス、色合いなどを自動的に変換し、画像の補正を行います。[自動画像補正] ダイアログボックス（→ P.28）が表示され、補正結果が確認できます。

[手動画像補正]

[手動画像補正] ダイアログボックス（→ P.28）が表示され、スライダーを左右にドラッグすることにより、明るさ、コントラスト、シャープネス、色合いなどを調整できます。

[周辺光量補正]

[周辺光量補正]ダイアログボックスが表示され、スライダーを左右にドラッグすることにより、画像の周辺部の光量（明るさ）を調整できます。



［周辺光量補正］ダイアログボックス

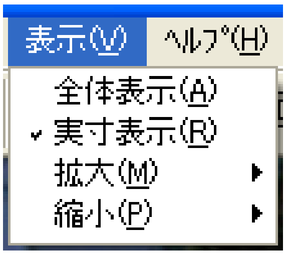
[歪曲収差補正]

[歪曲収差補正]ダイアログボックスが表示されます。
[補助線]ボタンをクリックして補助線を表示して目安にし、スライダーを左右にドラッグすることにより、画像の歪みを補正できます。
補助線は、線上をドラッグすると移動できます。また、線の端をドラッグすると向きや長さを変えることができます。



［歪曲収差補正］ダイアログボックス

[表示]メニュー



[全体表示]

ビューワー画面一杯に画像全体を表示します。

[実寸表示]

画像を実寸で表示します。

[拡大]

画像を２倍、３倍、４倍、８倍、16倍に拡大表示します。

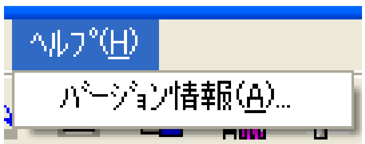
メモ

画像サイズによっては拡大表示できない倍率があります。

[縮小]

画像を1/2、1/3、1/4、1/8、1/16に縮小表示します。

[ヘルプ]メニュー



[バージョン情報]

CaplioViewerのバージョンを表示します。

画像を印刷する

サムネイル表示されている画像を印刷することができます。

10 種類の印刷タイプ（印刷のレイアウト）が選択できます。

印刷設定を行う

画像を印刷するには、まず印刷設定を行います。

1. **［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択する**

［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

2. **［印刷タイプ］で印刷のレイアウトを選択する**

3. **必要に応じて、他の設定を行う**

設定内容については、次の「［印刷設定］ダイアログボックスの使いかた」を参照してください。

4. **［OK］ボタンをクリックする**

設定が完了します。

メモ

・手順4で［印刷］ボタンをクリックすると、［印刷］ダイアログボックスが表示され、印刷を開始することができます。

・1 枚の画像を大きく印刷するには［印刷設定］の印刷タイプで1×1を選択してください。

・GPS情報は印刷されません。

［印刷設定］ダイアログボックスの使いかた



1. ［印刷タイプ］
サムネイルを印刷するときのレイアウトを選択できます。

2. ［タイトル］
用紙の一番上にタイトルを印刷できます。タイトルには、フォルダ名を使ったり、任意の文字列を指定することができます。

3. ［オプション］
チェックマークを付けると、フレームを付けたり、撮影日付、印刷日付、ページ数、ファイル名などを一緒に印刷することができます。

4. ［余白］
用紙の余白の幅を指定できます。

5. ［印刷］
［印刷］ダイアログボックスを表示し、印刷ができます。

6. ［プリンタ設定］
プリンタの設定ができます。

7. ［OK］
印刷を行わずに印刷設定だけを行うことができます。

印刷時のレイアウトを確認する

印刷する前に、印刷時のレイアウト（印刷プレビュー）を確認することができます。

1. ［ファイル］メニューから［印刷プレビュー］を選択する

印刷プレビュー画面が表示されます。



画面上部のボタンは、次のような働きがあります。

［印刷］	：	［印刷］ダイアログボックスを表示し、印刷ができます。
［次ページ］	：	次のページを表示します。
［前ページ］	：	前のページを表示します。
［2 ページ］	：	画面に 2 ページずつ表示します。
［拡大］	：	拡大表示します。
［縮小］	：	縮小表示します。
［閉じる］	：	印刷プレビュー画面を閉じます。

プリンタの設定を行う

［ファイル］メニューの［印刷設定］ダイアログボックス中の［プリンタの設定］を選択すると、プリンタの選択や用紙サイズ、給紙方法など、プリンタに関する設定ができます。

印刷を行う

印刷を行うには、次のように操作します。

1. 印刷したい画像をクリックして選択する

連続している画像を複数選択するときには、先頭の画像をクリックして、［Shift］キーを押しながら最後の画像をクリックします。

離れた位置にある画像を複数選択するときには、［Ctrl］キーを押しながら、画像を順にクリックします。

表示されているサムネイル画像をすべて印刷する場合には、ここでは何もしないで手順へ進みます。

2. ［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

3. プリンタ名を確認し、必要に応じて［プロパティ］ボタンをクリックしてプリンタの設定を行う

4. 次のいずれかの操作を行う

- 選択した画像を印刷するときには、［印刷範囲］で［選択した部分］を選択し、［部数］を指定して、［OK］ボタンをクリックする
- すべての画像を印刷するときには、［部数］を指定して、［OK］ボタンをクリックする

Section 3
Caplio Transfer Softwareの使い方

Caplio Transfer Softwareは、画像をRidoc Desk 2000 Ltに登録するためのソフトウェアです。

ここではCaplio Transfer Softwareの使いかたについて説明します。

参照

Caplio Transfer Softwareのインストールについて→『使用説明書（カメラ・導入編）』

Caplio Transfer Softwareについて

Caplio Transfer Softwareには、次の2種類の機能があります。

カメラメモ分類保存機能：

画像をカメラメモの内容によって分類し、パソコンのフォルダに転送します。

Ridoc Desk 2000 Ltへの画像転送機能：

カメラ内の画像をパソコンに転送し、Ridoc Desk 2000 Ltに登録します。

参照

Caplio Transfer Software のインストール方法について→『使用説明書（カメラ・導入編）』

注意

カメラメモは、本カメラでは使用できません。

Ridoc Desk 2000 Lt への画像転送機能について

画像転送機能は、カメラ内の画像をパソコンに転送し、Ridoc Desk 2000 Ltの個人キャビネット / ワークフォルダに登録する機能です。

メモ

付属ソフト Ridoc Desk 2000 Lt がインストールされている場合に使用できます。また、Ridoc Desk 2000（Ver.3.0.0.0以降）をご利用になっている場合は、カメラ内の画像を Ridoc Desk 2000 に登録することもできます。

注意

Ridoc Desk 2000 Ltへの画像転送機能を使用するには、Ridoc Desk 2000 Lt または Ridoc Desk 2000 が必要です。Ridoc Desk 2000 Ltは、Caplio Software CD-ROMに収められています。Ridoc Desk 2000 Ltのインストール方法は、『使用説明書（カメラ・導入編）』を参照してください。

Caplio Transfer Software をご使用の前に

■Windows 98/98 SE/Me/2000の場合

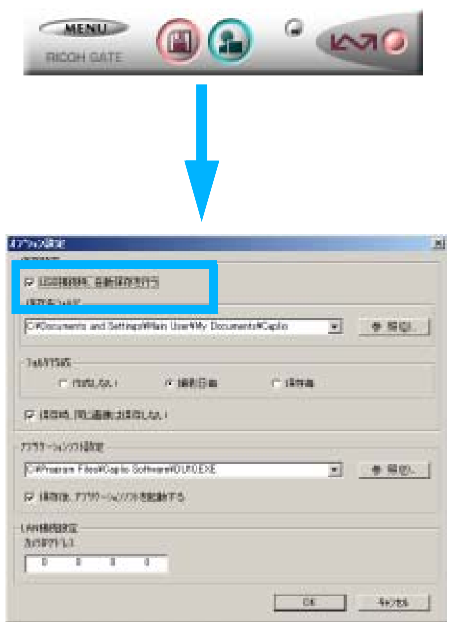
Caplio Software CD-ROM には、RICOH Gate La（画像取り込みソフト）が収められています。

RICOH Gate La の初期設定では、カメラをパソコンに接続すると RICOH Gate La がカメラの画像を自動的にパソコンに取り込む設定になっています。

これは、RICOH Gate LaのMENUボタンで表示したメニューで［オプション設定］－［保存設定 ］を選択して表示されるダイアログボックスの［USB 接続時、自動保存を行う］チェックボックスが「ON」になっている（チェックマークが付いている）ためです。

Caplio Transfer Software をインストールすると、［USB 接続時、自動保存を行う］チェックボックスの設定が「OFF」（チェックマークが消える）に変更されます。

もし、RICOH Gate La を優先的にご使用になりたい場合は、［USB 接続時、自動保存を行う］チェックボックスを［ON］に手動で設定変更してください。



Caplio Transfer Software を優先的にご使用になる場合は、［USB 接続時、自動保存を行う］チェックボックスは「OFF」のままにしておいてください。

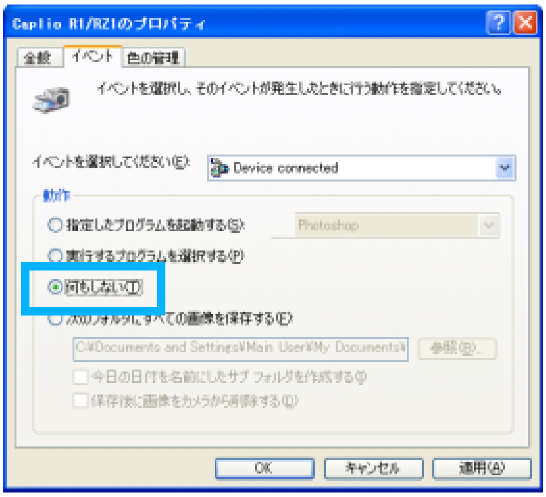
■Windows XPの場合

Caplio Software CD-ROMには、WIAドライバー（画像取り込み機能）が収められています。

WIAドライバーの初期設定では、カメラをパソコンに接続するとカメラから画像を取り込むための［スキャナとカメラのウィザード］画面が自動的に表示されます。

Caplio Transfer Softwareを優先的にご使用になりたい場合は、［スキャナとカメラのウィザード］画面が自動的に表示されないようにするために、次のように操作してください。

1. カメラをパソコンに接続した状態で、［マイコンピュータ］を開く
2. カメラのマーク（[Caplio R1/RZ1]アイコン）を右クリックしてメニューを表示し、［プロパティ］を選択する
3. [Caplio R1/RZ1のプロパティ]画面で［イベント］タブをクリックしてイベントページを表示し、[動作］で［何もしない］を選択する



4. [OK］ボタンをクリックする

注意

USBケーブルで接続した場合の画像転送について

- Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込み中（「データを取得中です」が表示されている間）は、カメラの電源をオフにしないように、また、USBケーブルを抜かないようにしてください。
- Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込み中は、RICOH Gate Laでの画像の取り込みは行わないでください。
- RICOH Gate Laでの画像の取り込み中は、Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込みは行わないでください。
- Ridoc Desk 2000 Ltのへの画像転送機能を用いて、カメラのデータをRidoc Desk 2000 Ltに表示しているときは、Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込みは行わないでください。
- Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込み中は、Ridoc Desk 2000 Ltのへの画像転送機能を用いて、カメラのデータをRidoc Desk 2000 Ltに表示しないようにしてください。
- パソコンに接続できる弊社デジタルカメラは、1台のみです。複数台の弊社デジタルカメラを同時にパソコンに接続しないようにしてください。
- ファイルサイズが大きい音声ファイルの取り込みは、パソコンの未使用メモリサイズに依存します。パソコンの未使用メモリサイズによっては、取り込みができない場合があります。

転送設定をする

Caplio Transfer Software で画像をパソコンに転送するには、転送のための設定が必要です。

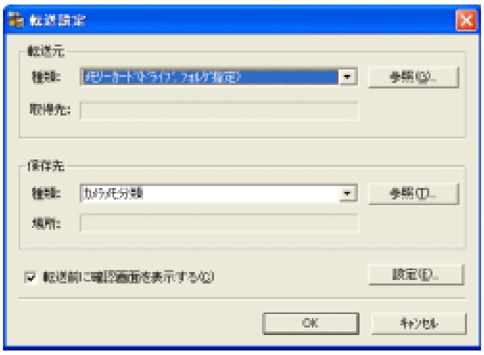
1. カメラまたはPCカードアダプター（別売り）に SD メモリーカードをセットする

カメラの内蔵メモリーからの転送の場合には、この操作は必要ありません。

2. パソコンにカメラまたはPCカードアダプター（別売り）を接続する

3. Windows　のスタートメニューから、[プログラム] → [Caplio Transfer Software] → [設定] を選択する

[転送設定] ダイアログボックスが表示されます。



4. [転送元] で [種類] を選択する

次の２種類から選択できます。

- RICOH Caplio：カメラ（内蔵メモリーまたは SD メモリーカード）内の画像を転送する場合
- メモリーカード（ドライブ、フォルダ指定）：PC カードアダプター（別売り）を使用して SD メモリーカード内の画像を転送する場合。パソコン内のフォルダを指定することもできます。

5. 手順４で「メモリーカード（ドライブ、フォルダ指定）」を選択した場合には、[参照] ボタンをクリックして、フォルダを指定する

6. [保存先] で [種類] を選択する

次の２種類から選択できます。

- カメラメモ分類：指定したフォルダに画像を転送保存します。
- Ridoc　Desk　2000：（Ridoc　Desk 2000 Lt もしくは Ridoc Desk 2000 がインストールされている場合のみ選択できる）Ridoc Desk 2000 Lt の個人キャビネット / ワークフォルダへ画像を転送保存します。

7. 手順６で「カメラメモ分類」を選択した場合には、[参照] ボタンをクリックして、保存先のフォルダを指定する

8. 必要に応じて [転送前に確認画面を表示する] にチェックマークを付ける

9. [設定] ボタンをクリックする

[設定情報] ダイアログボックスが表示されます。

[設定情報の一覧] で項目を選択し、[変更] ボタンをクリックすると、一覧に表示された項目の設定変更ができます。

注意

カメラメモは、本カメラでは使用できません。

■転送元が「RICOH　Caplio」、保存先が「Ridoc Desk 2000」の場合

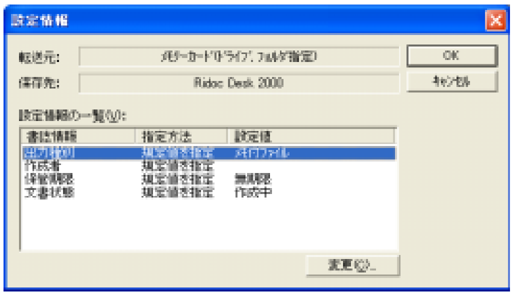


［設定情報の一覧］で項目を選択し、［変更］ボタンをクリックすると、次の設定ができます。

上書き保存	一度取り込みを行った画像を再度取り込むかどうか選択できます。 「同じ画像は保存しない」を選択した場合、一度取り込みを行った画像は取り込みません。
作成者	登録文章の作成者を次のいずれかから選択します。 ・規定値を指定 ・取得先を指定
保管期限	文章の保管期限を次のいずれかから選択します。 ・無期限 ・期限あり（保管日数を指定）
文書状態	文章の作成状態を次のいずれかから選択します。 ・作成中 ・完成

設定を行ったら、手順10へ進みます。

■転送元が「メモリーカード（ドライブ、フォルダ指定）」、保存先が「Ridoc Desk 2000」の場合



出力種別	カメラメモ付き画像のみを転送するか、すべてのファイルを転送するか選択できます。
作成者	登録文章の作成者を次のいずれかから選択します。 ・規定値を指定 ・取得先を指定
保管期限	文章の保管期限を次のいずれかから選択します。 ・無期限 ・期限あり（保管日数を指定）
文書状態	文章の作成状態を次のいずれかから選択します。 ・作成中 ・完成

設定を行ったら、手順10へ進みます。

10. ［OK］ボタンをクリックする

カメラメモ付き画像の転送設定が完了し、画像を転送できます。「画像を転送する」（P.39）へ進んでください。

メモ

同じ設定で転送する場合には、転送のたびに設定する必要はありません。

参照

・転送の操作について→P.39

注意

カメラメモは、本カメラでは使用できません。

画像を転送する

はじめてCaplio Transfe Softwareのカメラメモ分類機能を使用する場合には、前述のように転送設定を行ってから転送しますが、一度転送の設定を済ませ、設定内容を変更する必要がない場合には、設定を行わずに転送のみ行うことができます。

設定内容を変更したいときには、「転送設定をする」で説明した方法で、設定を行ってから転送してください。

1. カメラまたはPCカードアダプター（別売り）に SD メモリーカードをセットする

カメラの内蔵メモリーからの転送の場合には、この操作は必要ありません。

2. パソコンとカメラまたはPCカードアダプター（別売り）を接続する

3. Windows　のスタートメニューから、［プログラム］→［Caplio Transfer Software］→［転送］を選択する

［転送設定］ダイアログボックスで［転送前に確認画面を表示する］にチェックマークを付けていない場合には、画像が転送されます。

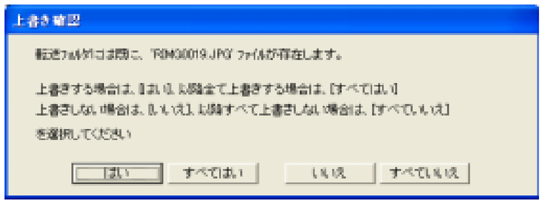
チェックマークを付けた場合には、次のダイアログボックスが表示されます。



4. ［転送］をクリックする

画像が転送されます。

［設定情報］ダイアログボックスの設定によっては、転送先フォルダに同じ名前のファイルが存在した場合に、次のメッセージが表示されますので、いずかのボタンをクリックしてください。



Chapter 2
パソコンで画像を楽しむ（Macintosh編）

Section 1
画像をパソコンに取り込む

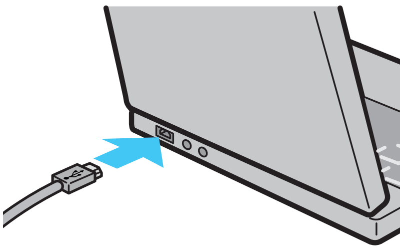
ここでは、静止画や動画などの画像をパソコンに取り込んで表示する方法について説明します。

カメラとパソコンを接続する

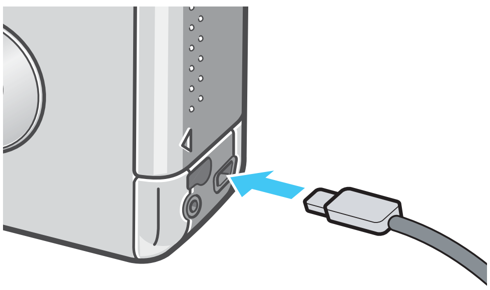
ソフトをパソコンに入れたら、カメラとパソコンを接続します。

1. カメラの電源がオフになっていることを確認する

2. 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する



3. USBケーブルをUSB端子に接続する



カメラの電源がオンになります。

メモ

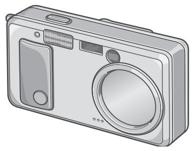
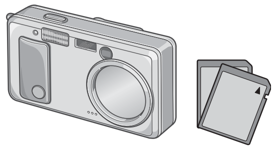
・カメラとパソコンの接続をやめるには
 1. カメラの電源をオフにする
 2. USBケーブルを外す
・カメラから画像を取り込む場合には、電源に AC アダプター（別売り）を使用することをお勧めします。

画像をパソコンに取り込む

カメラとパソコンの接続ができたら、画像をパソコンに取り込むことができます。

メモ

取り込み時には、次の記録先からパソコンに取り込まれます。

本体のみのとき	SD メモリーカードがセットされているとき
内蔵メモリーから取り込む 	SD メモリーカードから取り込む 

ご使用になっているパソコン環境によって、取り込み方法が下記の表のように異なります。参照ページの手順にしたがって取り込みを行ってください。

Mac OS 8.6 〜 9.2.2 の場合	RICOH Gate La を使用して取り込みます。	→ P.42
Mac OS X 10.1.2 〜 10.3 の場合	マウンターを使って取り込みます。	→ P.43

Mac OS 8.6～9.2.2の場合

Mac OS 8.6, Mac OS 9.1未満 の場合は、起動ディスク[Macintosh HD]のルートディレクトリに[Caplio]フォルダを作成します。

Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 の場合は、起動ディスク[Macintosh HD]内の[書類]フォルダの中に自動的に[Caplio]フォルダを作成します。

1. カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する

カメラの電源がオンになり、RICOH Gate La が起動して、RICOH Gate La のウィンドウが表示されます。



自動的に画像の転送が開始されます。

2. [ファイル] メニューを表示し、[終了] を選択する

RICOH Gate Laが終了します。

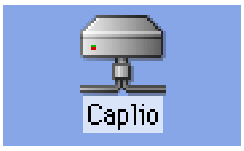
■マウンターを使う場合

マウンターを使って画像を転送することもできます。

1. カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する

カメラの電源がオンになります。

SDメモリーカードがない場合は[Caplio]アイコンが表示され、カメラの内蔵メモリーに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



SDメモリーカードがある場合は[Caplio.SD]アイコンが表示され、カメラにセットされたSDメモリーカードに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



2. 表示されたアイコンをダブルクリックする

通常のドライブと同じように扱うことができます。アイコンをダブルクリックすると、[DCIM] というフォルダが表示され、そのフォルダ内に [100RICOH] というフォルダが表示されます。[100RICOH] フォルダの中にカメラで撮影した画像ファイルがあります。

ファイルをドラッグアンドドロップし、ハードディスクにコピーしてご使用ください。

注意

マウンターを使う場合、SDメモリーカードへの書き込みはできません。

メモ

- カメラを接続しない状態で RICOH Gate La を起動したい場合には、システムフォルダ：コントロールパネルフォルダ内の[RICOH Gate La]アイコンをダブルクリックします。
- RICOH Gate Laで取り込んだ画像は、撮影日付ごとのフォルダに入れて[Caplio]フォルダ内に保存されます。マウンターでは任意の場所に取り込むことができます。

参照

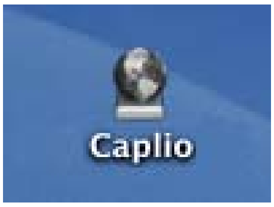
保存先フォルダを変更するには→P.45

Mac OS X 10.1.2～10.3の場合

1. カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する

カメラの電源がオンになります。

SDメモリーカードがない場合は[Caplio]アイコンが表示され、カメラの内蔵メモリーに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



SDメモリーカードがある場合は[Caplio.SD]アイコンが表示され、カメラにセットされたSDメモリーカードに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



2. 表示されたアイコンをダブルクリックする

通常のドライブと同じように扱うことができます。アイコンをダブルクリックすると、[DCIM] というフォルダが表示され、そのフォルダ内に [100RICOH] というフォルダが表示されます。[100RICOH] フォルダの中にカメラで撮影した画像ファイルがあります。

ファイルをドラッグアンドドロップし、ハードディスクにコピーしてご使用ください。

RICOH Gate Laの使いかた

RICOH Gate La は、カメラからパソコンに画像を一括して取り込む働きをするソフトウェアです。

カメラとパソコンを USB ケーブルで接続するだけで、自動的にパソコンに画像を取り込みます。

RICOH Gate La のウィンドウでは、接続時自動保存や画像の取り込み先（保存先）など、さまざまな設定ができます。

起動について

RICOH Gate La は、カメラとパソコンを USB ケーブルで接続すると、自動的に起動し、画像を取り込みます。

終了するには

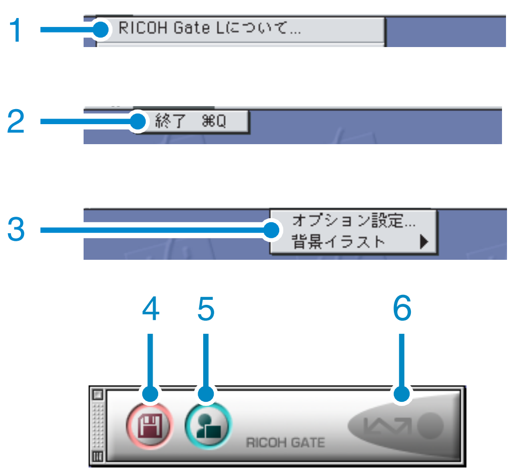
RICOH Gate La を終了するには、RICOH Gate Laのメニューバーから［終了］を選択します。

再起動するには

一度終了した後、RICOH Gate La を再度起動したい場合には、システムフォルダ内のコントロールパネルフォルダにある［RICOH Gate La]アイコンをダブルクリックします。

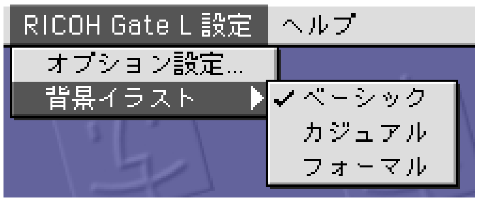
RICOH Gate Laのウィンドウ

RICOH Gate La が起動すると、画面上に RICOH Gate La のメニューバーと次のようなウィンドウが表示されます。



1. [RICOH Gate Laについて]
   RICOH Gate Laのバージョンを表示します。
2. [終了]
   RICOH Gate Laを終了します。
3. [オプション設定]
   画像の保存先や、保存後およびアプリケーションボタンを押したときに起動するアプリケーションを設定します。（→P.45）

   [背景イラスト]
   選択するとサブメニューが表示されるので、RICOH Gate Laのウィンドウの背景デザインを変更できます。

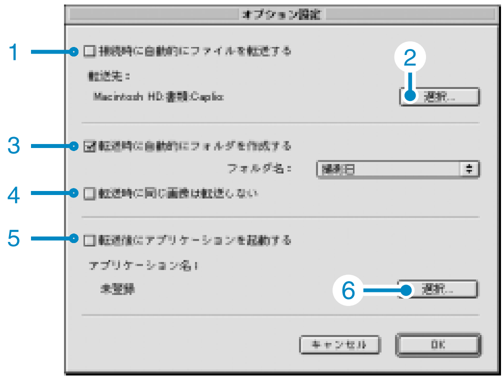


サブメニューの図

4. [保存ボタン]
   クリックするとカメラから画像を取り込みます。
5. [アプリケーションボタン]
   オプション設定で登録されたアプリケーションを起動します。
6. [インジケータ]
   カメラが USB ケーブルで接続されていると、［インジケータ］が点灯します。

[オプション設定]の使いかた

[RICOH Gate La 設定]メニューから[オプション設定]を選ぶと、[オプション設定]ダイアログボックスが表示されます。



項目		説明	初期値
1.	[接続時自動保存を行う]	チェックマークを付けると、カメラとパソコンが接続されたときに自動的に画像がパソコンに取り込まれ、保存されます。 チェックマークを消すと、カメラを接続しても画像は自動的には取り込まれません。取り込みたいときには、[保存]ボタンをクリックします。	自動的にファイルを転送する
2.	[選択]	画像を保存するフォルダを指定します。 Mac OS 8.6, Mac OS 9.1 未満 の場合は、起動ディスク [Macintosh HD] のルートディレクトリの [Caplio] フォルダに、Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 の場合は、起動ディスク [Macintosh HD] 内の [書類] フォルダの中の [Caplio] フォルダに設定されているので、変更したいときには、[選択] ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいフォルダを選択します。	――――
3.	[フォルダ作成]	作成方法を指定します。 [作成しない] 取り込んだ画像を、すべて 2. で指定されているフォルダ内に保存します。 [撮影日] フォルダ名を撮影日にしてフォルダを新規作成し、同じ日に撮影した画像を同じフォルダに保存します。 作成されるフォルダ名は、「撮影日付」になります。 例) 2004 年 5 月 1 日に撮影した場合：[20040501] フォルダ [転送日＋転送回数] 保存毎にフォルダを新規作成し、保存毎に同じフォルダに画像を保存します。 例) 2004 年 5 月 1 日に 2 回保存した場合： [20040501_001] フォルダ、[20040501_002] フォルダ	撮影日
4.	[保存時、同じ画像は保存しない	[フォルダ作成] で [転送時に自動的にフォルダを作成する] にチェックが付いていない状態か、フォルダ名に [撮影日] を選択したときだけ指定できます。 一度取り込みを行った画像は取り込みません。この機能を正しく働かせるには、カメラの時計情報を正しく設定する必要があります。	同じ画像は保存しない
5.	[転送後にアプリケーションを起動する]	チェックマークを付けると、保存後にアプリケーションを起動します。 チェックマークを消すと、起動しません。	転送後にアプリケーションを起動しない
6.	[選択]	保存後にアプリケーションを起動したい場合に、アプリケーション名を指定します。[選択] ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいアプリケーションを選択します。	――――

お困りのときは

パソコンとの接続/ソフトウェアについて

症状 1　画像の取り込みができないときには・・・

対処方法1

Caplio レスキューを起動して、メッセージに従って操作してください。

対処方法2

カメラが正しくパソコンに認識されていない可能性が考えられます。

次のように操作してみてください。

●Windows 98/98SE/Meの場合には・・・

Step1：まず、次の操作をしてみてください。

① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。

② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。

③ Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。

④ [設定]を選択し、[コントロールパネル]を選択します。

⑤ コントロールパネルが表示されるので、[システム]アイコンをダブルクリックします。

⑥ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

⑦ [デバイスマネージャ]タブが表示されるので、[その他のデバイス]の左に表示された[+]をクリックします。

⑧ 下位に表示された項目に[Caplio R1/RZ1]がないか確認します。もしあれば、[Caplio R1/RZ1]をクリックして、[デバイスマネージャ]タブの下の方に表示されている[削除]ボタンをクリックします。

[Caplio R1/RZ1]が削除されます。

⑨ [OK]ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。

⑩ コントロールパネルに戻るので、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

⑪ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面が表示されるので、[Caplio Software]を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。

Caplio Softwareがアンインストールされます。

⑫ [OK]ボタンをクリックして[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面を閉じます。

⑬ [×]（閉じる）ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

⑭ パソコンとカメラの電源を切ります。

⑮ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。

※この時、カメラは接続しないでください。

⑯ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア]の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

Step2：まだカメラが正しくパソコンに認識されない場合には、次の操作をしてみてください。

① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。

② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。

③ Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。

④ [設定]を選択し、[コントロールパネル]を選択します。

⑤ コントロールパネルが表示されるので、[システム]アイコンをダブルクリックします。

⑥ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

⑦ [デバイスマネージャ]タブが表示されるので、[ポート(COM/LPT)]の左に表示された[+]をクリックします。

⑧ [ポート(COM/LPT)]の下位に表示された[Ricoh Camera Port]に不明なデバイスのマーク（！）がついていないかどうか確認します。もしあれば、それを選択し、[デバイスマネージャ]タブの下の方に表示されている[削除]ボタンをクリックして削除します。

⑨ [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の左に表示された[+]をクリックします。

⑩ [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下位に表示された[RICOH USB Virtual COM]に不明なデバイスのマーク（！）がついていないかどうか確認します。もしあれば、それを選択し、[デバイスマネージャ]タブの下の方に表示されている[削除]ボタンをクリックして削除します。

⑪ [OK]ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。

⑫ コントロールパネルに戻るので、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

⑬ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面が表示されるので、[Caplio Software]を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。

Caplio Softwareがアンインストールされます。

⑭ [OK]ボタンをクリックして[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面を閉じます。

⑮ [×]（閉じる）ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

⑯ パソコンとカメラの電源を切ります。

⑰ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。

※この時、カメラは接続しないでください。

⑱ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア]の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

●Windows 2000の場合には・・・

Step1：まず、次の操作をしてみてください。

① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。

② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。

③ Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。

④ [設定]を選択し、[コントロールパネル]を選択します。

⑤ コントロールパネルが表示されるので、[システム]アイコンをダブルクリックします。

⑥ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックします。

⑦ [ハードウェア]タブが表示されるので、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

⑧ [デバイスマネージャ]画面が表示されるので、[その他のデバイス]の左に表示された[+]をクリックします。

⑨ 下位に表示された項目に[Caplio R1/RZ1]がないか確認します。もしあれば、[Caplio R1/RZ1]をクリックして、[操作]メニューの[削除]を選択します。

[Caplio R1/RZ1]が削除されます。

⑩ [×]（閉じる）ボタンをクリックして[デバイスマネージャ]画面を閉じます。

⑪ [OK]ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。

⑫ コントロールパネルに戻るので、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

⑬ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面が表示されるので、[Caplio Software]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

Caplio Softwareのソフトがアンインストールされます。

⑭ [×]（閉じる）ボタンをクリックして[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面を閉じます。

⑮ [×]（閉じる）ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

⑯ パソコンとカメラの電源を切ります。

⑰ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。

※この時、カメラは接続しないでください。

⑱ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア]の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

Step2　まだカメラが正しくパソコンに認識されない場合には、次の操作をしてみてください。

① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。

② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。

③ Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。

④ [設定]を選択し、[コントロールパネル]を選択します。

⑤ コントロールパネルが表示されるので、[システム]アイコンをダブルクリックします。

⑥ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックします。

⑦ [ハードウェア]タブが表示されるので、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

⑧ [デバイスマネージャ]画面が表示されるので、[ポート(COM/LPT)]の左に表示された[+]をクリックします。

⑨ [ポート(COM/LPT)]の下位に表示された[Ricoh Camera Port]に不明なデバイスのマーク（！）がついていないかどうか確認します。もしあれば、それをクリックし、[操作]メニューの［削除］を選択します。

⑩ [×]（閉じる）ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。

⑪ コントロールパネルに戻るので、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

⑫ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面が表示されるので、[Caplio Software]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

Caplio Softwareがアンインストールされます。

⑬ [×]（閉じる）ボタンをクリックして[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面を閉じます。

⑭ [×]（閉じる）ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

⑮ パソコンとカメラの電源を切ります。

⑯ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。

※この時、カメラは接続しないでください。

⑰ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア]の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

●Windows XPの場合には・・・

Step1：まず、次の操作をしてみてください。

① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。

② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。

③ Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。

④ [コントロールパネル]を選択します。

⑤ コントロールパネルが表示されるので、[クラシック表示に切り替える]をクリックします。

表示が変わり[システム]アイコンが表示されます。

⑥ [システム]アイコンをダブルクリックします。

⑦ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックします。

⑧ [ハードウェア]タブが表示されるので、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

⑨ [デバイスマネージャ]画面が表示されるので、[その他のデバイス]の左に表示された[+]をクリックします。

⑩ 下位に表示された項目に [Caplio R1/RZ1] がないか確認します。もしあれば、[Caplio R1/RZ1] を右クリックしてメニューを表示し、[ドライバの更新]を選択します。

⑪ [ハードウェアの更新ウィザード]が起動します。ここで事前にパソコンのCD-ROMドライブにCaplio SoftwareのCD-ROMをセットしておきます。

⑫ [ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]が選択されていることを確認して[次へ]ボタンをクリックします。

⑬ [ハードウェアの更新ウィザードの完了]画面が表示されたら[完了]ボタンをクリックします。

⑭ [×](閉じる)ボタンをクリックして[デバイスマネージャ]画面を閉じます。

⑮ [OK]ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。

⑯ [×](閉じる)ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

⑰ パソコンとカメラの電源を切ります。

⑱ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。

※この時、カメラは接続しないでください。

⑲ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア]の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

Step2：まだカメラが正しくパソコンに認識されない場合には、次の操作をしてみてください。

① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。

② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。

③ Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。

④ [コントロールパネル]を選択します。

⑤ コントロールパネルが表示されるので、[クラシック表示に切り替える]をクリックします。
表示が変わり[システム]アイコンが表示されます。

⑥ [システム]アイコンをダブルクリックします。

⑦ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックします。

⑧ [ハードウェア]タブが表示されるので、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

⑨ [デバイスマネージャ]画面が表示されるので、[イメージングデバイス]の左に表示された[+]をクリックします。

⑩ [イメージングデバイス]の下位に表示された[Caplio R1/RZ1]に不明なデバイスのマーク（！）がついていないかどうか確認します。もしあれば、表示されたその不明なデバイスマークを右クリックしてメニューを表示し、[ドライバの更新]を選択します。

⑪ [ハードウェアの更新ウィザード]が起動します。ここで事前にパソコンのCD-ROMドライブにCaplio SoftwareのCD-ROMをセットしておきます。

⑫ [ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]が選択されていることを確認して[次へ]ボタンをクリックします。

⑬ [ハードウェアの更新ウィザードの完了]画面が表示されたら[完了]ボタンをクリックします。

⑭ [×](閉じる)ボタンをクリックして[デバイスマネージャ]画面を閉じます。

⑮ [OK]ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。

⑯ [×](閉じる)ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

ドライバーが正しくインストールされ、カメラがパソコンに正しく認識されるようになります。

対処方法 3

Windows 98/98SE/Meの場合、COMポートの設定が誤っている可能性が考えられます。

次のように操作してみてください。

① パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。

② Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。

③ [設定]を選択し、[コントロールパネル]を選択します。

④ コントロールパネルが表示されるので、[システム]アイコンをダブルクリックします。

⑤ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

⑥ [デバイスマネージャ]タブが表示されるので、[ポート(COM/LPT)]の左に表示された[+]をクリックします。

⑦ [ポート(COM/LPT)]の下位に表示された[Ricoh Camera Port]をクリックして、[デバイスマネージャ]タブの下の方に表示されている[プロパティ]ボタンをクリックします。

⑧ [Ricoh Camera Portのプロパティ]画面が表示されるので、[Port Select]タブをクリックします。

⑨ [Port Select]タブが表示されるので、[PortName]で使用していないCOM番号を選択します。

現在カメラが割り当てされているポート（COM番号）の後ろには「*」がついています。

USBドライバのインストール直後には、COM7が選択されているはずですので、COM8以降いずれかを選択してください。

⑩ [OK]ボタンをクリックして[Ricoh Camera Portのプロパティ]画面を閉じます。

⑪ [OK]ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。

⑫ [×]（閉じる）ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

対処方法4

カメラをUSBハブを経由して、パソコンに接続している場合は、カメラが正常に認識されていない可能性が考えられます。

次のようにUSBポートを変更してみてください。

・ パソコン本体のUSBポートに直接つないでみます。
・ ルートHUBが複数あれば、もう一方のポートに変更してみます。

なお、USB以外のハブを使用している場合には、USBハブを使用して接続し直してみてください。

対処方法5

電池が消耗している可能性が考えられます。

電池が消耗しているか確認して、消耗している場合には、新しい電池と交換してください。

対処方法6

パソコンのハードディスクの空き容量が足りない可能性が考えられます。

Windowsの動作に必要な空き容量と、それに加えて画像ファイル取り込み先ドライブにカメラ側のSDメモリーカードと同じ容量以上の空き容量があることを確認してください。

症状２　RICOH Gate La のオプション設定で、［保存時、同じ画像は保存しない］にチェックを入れていても、同じ画像がパソコンに取り込まれてしまうときには・・・

対処方法

カメラの時計の設定が正しくない、もしくはカメラの時計情報がリセットされてしまっている可能性があります。

[保存時、同じ画像は保存しない] の機能を正しく働かせるには、カメラの時刻情報を正しく設定する必要があります。カメラの時計情報を正しく設定してください。

症状３　カメラから取り込んだファイルをパソコン上で削除してしまったので、同じファイルを再度カメラから取り込もうとしたが、取り込むことができなかった。こんなときには・・・

対処方法

RICOH Gate Laのオプション設定で、[保存時、同じ画像は保存しない]にチェックマークが付いていると、一度取り込んだファイルはパソコンに取り込まれません。RICOH Gate Laのオプション設定で[保存時、同じ画像は保存しない]のチェックマークを外してください。

症状４　動画が再生できないときには・・・

対処方法１

Caplio レスキューを起動して、メッセージに従って操作してください。

対処方法２

DirectXがインストールされていない可能性が考えられます。(Windows 98/98SE/Me/2000の場合）Caplio Software CD-ROMからDirectXをインストールしてください。

症状５　カメラをWindowsXPにUSB接続した時に「RICOH Gate La」を起動しないようにするには・・・

対処方法

カメラとパソコンをUSB接続し、Windowsタスクバーの「スタート」ボタンより「マイコンピュータ」を開きます。マイコンピュータの画面上のカメラのマークの上で右クリックし「プロパティ」をクリックして開きます。カメラのプロパティ画面を開き、「イベント」をクリックします。イベントページの「動作」の設定場所で「何もしない」または「実行するプログラムを選択する」をクリックし、[OK] をクリックしてください。「何もしない(T)」を選択すると、カメラをパソコンに接続したときに、何も動作が起きません。「実行するプログラムを選択する(P)」を選択すると、カメラをパソコンに接続したときに、画面が表示され、起動するプログラムを選択できます。